

## 第5期雄武町総合計画後期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	5	ささえあい・雄武	整理番号	74
基本施策	22	住民主体のまちづくりの推進	評価 責任者	住民生活課長 淡路 至尊
単位施策	1	地域づくり活動の促進		財務企画課長 佐々木幸博

### 1 施策の概要

基本方針	地域住民の連帯意識・自治意識を高めるため、自治会活動や、各種のテーマ型地域づくり活動の活性化を働きかけます。特に、自治会単位による高齢者の見守り機能の充実やボランティア組織の育成などについての取り組みを働きかけていきます。また、町民主導の地域づくりイベントに対する支援に努めていきます。			
現状と課題	【現状】（平成23年度末）	【現状】（平成26年度末）		
	大地震・津波などに備えた防災対策や少子高齢化の進行に伴う高齢者福祉対策、環境美化など行政だけでは解決できない地域課題に対し、住民自治の基盤である自治会組織の役割が益々高まっている。	まちづくりの基盤となる自治会においては、人口減に伴い再編による統廃合が行なわれ、現在29自治会となっており、特に郡部では、離農等による転出などで自治会活動に支障をきたしている自治会もある。また、若年単身世帯では、自治会に加入しない者も増えている。		
	【課題】（平成23年度末）	【課題】（平成26年度末）		
	都市化の進展を背景とした人間関係の希薄化による自治会への非加入や役員の担い手不足など、自治会活動や運営を巡り様々な課題が山積している。	地域戸数の減少により活動そのものが停滞している自治会があり、自治会の存続に関わる問題となっている。また、市街地区では民間の単身アパートの建設や公営住宅の若年単身世帯が増えており、これら若年層の自治会への加入を勧めていかなければならない。		

### 2 基本施策指標

指標1	指標名	自治会の世帯加入率					
	定義等	全世帯数に対する自治会加入世帯数の割合					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						現状維持(95%)
	実績値		95%	92%	91%	90%	
指標2	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標3	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標4	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標5	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標6	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	26年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策 への貢献 度
①	ふるさと発信CI推進事業	企画調整係	393	A	継続/現状維持	A
②	自治会運営補助事業	住民活動係	6,130	A	継続/現状維持	A
③	雄武町自治会連合会補助事業	住民活動係	250	A	継続/現状維持	A
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	まちづくりの基盤となる自治会活動は地域の活性化とともに豊かな生活を実感することが出来る基礎となるものであり、これらの活動に対し、行政が支援することは当然である。
② 有効性	A	地域内の独自の取り組みや行政との協働を目指す活動など、自主的な自治会活動を促進する植え出有効である。
③ 効率性	A	活動実績等報告書の提出により検証を行い、効率的に支援に努めている。
④ 公平性	A	自主的に取り組む自治会活動や全自治会を対象としている。
⑤ 町民意見の反映	A	自治会長会議等地域の意見を取り上げ、反映している。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
26年度より、ふれあいまちづくり応援事業として、自主的に取り組む環境美化（花植え）並びに自治会内の高齢者等の除排雪に対して助成金の交付を実施した。	同 左	

今後の方向性

継続/現状維持	継続/現状維持	
自治会の円滑な運営と活動の推進のため今後も補助金の交付を行なうとともに地域の安全の確保や経費の抑制のため防犯灯や街路灯のLED化の整備に努めていく。	同 左	

\*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止